

[調査会NEWS 819] (21. 7. 31)

## ■非公開の特定失踪者都内で1名所在確認

昭和40年代に関西で失踪された男性（非公開でリストに登録）の所在が東京都内で確認されました。すでにご家族もお会いになっています。非公開の方のためお名前等は明らかにできませんのでご了承下さい。非公開の特定失踪者の人数は通常「約200人」としてしていますので、公表している人数には変化はありません。

## ■対策本部から回答

去る7月1日に河村官房長官に要請した折提出した要請文書に対し、本日回答が届けられました。すでにメールニュースで公開した個別のご家族からの手紙、要請文書についても本日付でそれぞれ直接に手紙が発送されているとのことです。

調査会宛の回答は以下の通りです。総合調整室長名にはなっていますが、官房長官も確認済みとのことでした。この間ご多忙な中対応された関係者の皆様に御礼申し上げます。内容的には正直なところ満足できるものではありませんが、問題点の多くは事務局レベルの問題ではなく、政治の決断に関わるものです。今後選挙もありますし、国民の声によって政治を動かしていくしかないと思います。あらためて各位のご協力をお願いする次第です。

(回答文)

平成21年7月31日

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博様

内閣官房拉致問題対策

本部事務局総合調整室長

「未認定の拉致被害者救出に関するお願い」に対する回答について

平成21年7月1日の内閣官房長官兼拉致問題担当大臣と特定失踪者ご家族との面会の際に提出されました標記要望書に対しまして、内閣官房拉致問題対策本部事務局から下記のとおり回答させていただきます。

記

1について、

政府としては、すべての拉致被害者の方々の一刻も早い救出を実現すべく、内閣総理大臣を本部長とする拉致問題対策本部を中心に、政府が一体となって、「対話と圧力」の姿勢をもって、引き続き最大限の努力を行っています。

政府においては、これまでに拉致被害者と認定している12件17名以外にも、北朝鮮当局による拉致の可能性を排除できない人が存在しているとの認識に基づき、いわゆる特定失踪者の事案も含めて、関係省庁・機関が緊密に連携を図りつつ、国内外からの情報収集や関連する捜査・調査を協力を推し進めるなど、全力で事実の解明に努めているところです。

この点については、昨年10月拉致問題対策本部において決定した「拉致問

題における今後の対応方針」でも、あらためて確認されているところです。  
これら捜査、調査の結果、北朝鮮によるらち行為があったと確認される場合には、速やかに当該者をらち被害者として認定することとしています。

また、北朝鮮に対しては日本艇被害者に限らず、すべての拉致被害者の安全確保と速やかな帰国を強く求めています。

2、について、

北朝鮮による拉致容疑事案の全容解明には、脱北者からの情報も十分参考にすべきと考えられることから、関係省庁・機関において、様々な情報収集活動を行っているところです。

また、政府としては、平成18年9月、内閣に内閣総理大臣を本部長、官房長官・拉致問題担当大臣を本部長、全閣僚を本部員とする拉致問題対策本部を設置するとともに、同本部の事務局の中に情報室を設置し、拉致問題等に関する情報の収集に取り組んでいます。

情報の収集には、対策本部事務局が中心となり、政府が一体となって、関係省庁・機関の緊密な連携の下、諸外国とも連携をとりつつ、取り組んでいます。

政府としては、最優先課題の一つとして、今後とも、あらゆる機会を捉えて、すべての拉致被害者の救出、拉致問題の真相究明等、拉致問題の全面解決に向けて、なお一層の努力を行ってまいります。

3について、

ご家族から個別にいただいていた要望書につきましては、それぞれのご家族に対し個別に回答させていただきます。

なお、拉致問題対策本部事務局では、本年1月より、希望される失踪者のご家族に対して、拉致問題関連動向の情報提供等をさせていただいております。今後ともきめ細かな対応を取ってまいります。

(参考：7月1日に提出した要望書)

平成21年7月1日

内閣官房長官・拉致問題担当大臣 河村建夫様

特定失踪者問題調査会

代表 荒木和博

未認定の拉致被害者救出に関するお願い

平素官房長官として、そして担当相として拉致問題解決のためにご尽力いただいていることに心より敬意を表します。また、ご多忙な中本日特定失踪者家族と面会のお時間を作っていただいたことに御礼申し上げます。

認定未認定に関わらず、すでにご家族は高齢化し、先週には福井県小浜市で失踪した山下春夫さんのお兄さんである山下孝治さん（群馬県在住）が亡くなりました。小浜で救出のために活動してきた長兄山下寛久さんも最近体

調を崩し小浜を離れざるをえなくなっています。特定失踪者の御家族の多くは時間が切迫していることを痛感しています。  
官房長官におかれましてはこの現実をご理解賜り、下記の諸点について早急な対応をしていただきたく、お願いする次第です。

## 記

1、 現在の警察を中心とした捜査→拉致認定→外交交渉での帰国というやり方では大部分の未認定拉致被害者は北朝鮮でその生を終えることとなります。認定被害者も大半は同様でしょう。担当大臣として、政府の責務が「救出」にあるということ国民の前に明らかにしていただくようお願い致します。

2、 上記の前提において、脱北者、脱北帰国者からの聞き取り等を積極的に行い、北朝鮮からの情報収集をしていただきますようお願い致します。また、これらの活動をするためには捜査情報の秘匿が原則である警察を中心として拉致問題に対応するのは無理があり、官房長官のリーダーシップのもと、様々な機関を活用して情報収集を進めていただくようお願いする次第です。

3、 本要請書及び個々の案件に関する要請書に関しては、お手数とは存じますが対策本部からの文書をもってご回答賜りたくお願いする次第です。

以上

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月8日（土）13：00「拉致問題を考える決起集会」（救う会愛媛主催）

- いよてつ高島屋前（伊予鉄道松山市駅前）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：末光さん（089-973-9003）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

- 甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）
- 理事山下が参加
- 問い合わせ：井上さん（090-9309-4669）

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

- フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

- 大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火） 18：30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2 - 2 - 30 0257 - 23 - 3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 818] (21. 7. 30)

本日の記者会見で以下について発表しました。

#### ■特定失踪者リスト（0番台・第41次

氏名：竹屋 恵美子（たけや えみこ）さん

性別：女

生年月日：昭和31（1956）年9月8日

失踪年月日：昭和49（1974）年9月27日

当時の年齢：18歳

当時の身分：無職

失踪場所：兵庫県加古川市

身体的特徴：身長155cm位 左足が若干不自由

失踪の経緯：メーカーに勤めていたが失踪1か月ほど前に「神戸の六甲山付近のパン屋で働く」といって会社を辞めた。失踪当日母から10万円をもらってバグーついで出て行った。数日後着替えを取りに行くからとだけ母親に電話があり、それ依頼連絡がない。

参考：この前後に失踪した特定失踪者（公開者のみ。括弧内は失踪場所）  
昭和49年

1月12日 波多野幸子・三浦和彦（福岡）※1000番台

1月16日 酒井秀俊（近畿）

2月 嶋脇文内（神戸市垂水区）

2月24日 大澤孝司（新潟県・佐渡）※1000番台

5月 石井久宏（埼玉県川口市）

5月2日 斉藤常夫（日本海）

5月13日 荒谷敏生（富山県新湊市）

6月14日 清崎公正（兵庫県尼崎市）※1000番台

7月11日 峰島英雄・関谷俊子・遠山常子（千葉県千葉市）  
8月17日 山下春夫（福井県小浜市）※1000番台  
<9月27日 竹屋恵美子>  
12月 堀江一利（東京都内）  
12月6日 石川和歌男（東京都八王子市）  
昭和50年  
1月 藤原英二（福井県？）  
3月23日 竹内久美子（大阪府住吉区）  
4月4日 萩本喜彦（兵庫県高砂市）※1000番台  
5月18日 明石靖彦（石川県珠洲市）  
8月 山田妙子（北海道札幌市）

## ■しおかぜ近況報告

### ●徳島県知事収録

7月2日、飯泉嘉門徳島県知事の「しおかぜメッセージ」収録が行われました。今回は県側のご希望により、地元での収録となりました。

徳島県に関わる特定失踪者のお名前の読み上げから始まったメッセージは、首長にふさわしい毅然とした声で、北朝鮮への怒りと、拉致問題解決への意欲が漲っていました。そして残されたご家族のお気持ちを労いながら、引き離された家族の絆に胸を痛める思いをメッセージに込め、拉致問題早期解決を切望する強い言葉でお話くださいました。飯泉知事の収録は全国で7番目（別紙参照）となり、このメッセージは既に7月18日より放送しております。

### ●上尾市長収録

本日、埼玉県上尾市長である島村穰氏による「しおかぜメッセージ」収録を行いました。全国の市長では2番目（別紙参照）になります。先日の橋下知事、飯泉知事も同様ですが、最近の動きとして、地元で活動する拉致問題の支援者の皆さんが、それぞれの自治体の首長に対して、「しおかぜ」の出演を要請する形で実現しております。今後も拉致問題解決へ取り組む全国の首長の皆様には、積極的に北朝鮮に対してメッセージを発信して頂きたいと願っております。

### ●電話によるメッセージ収録開始

しおかぜでは、これまで約42のご家族から肉声によるメッセージの収録を行い放送して参りました。皆さんスタジオでの収録や家族懇談会などでの収録がほとんどでしたが、地方で機会に恵まれない、お体の具合で収録に参加出来ない、マイクに向かうと話が出来なくなるなど、メッセージを送りたいと思ってもなかなか出来なかった方を対象にして、電話を使ったメッセージの収録を行う事としました。そして今回初めてのケースとして昨日、1998年に新潟県長岡市から失踪された中村三奈子さんのお母さんである中村クニさんによる収録を行いました。中村クニさんは先日退院されたばかりで、病み上がりの状態でしたが、三奈子さんへの思いと決してあきらめないというメッセージを力強くお話してくださいました。

今回収録させて頂いた、島村上尾市長と中村クニさんのメッセージは8月15日夜の放送より、朝鮮語訳と合わせて放送いたします

<短波放送「しおかぜ」 首長収録リスト>

知事

上田清司埼玉県知事 2006.12.15  
加戸守行愛媛県知事 2007.6.14  
石原慎太郎東京都知事 2008.6.11  
泉田裕彦新潟県知事 2009.1.13  
平井伸治鳥取県知事 2009.1.13  
橋下徹大阪府知事 2009.6.26  
飯泉嘉門徳島県知事 2009.7.2

市長

梅原克彦仙台市長 2007.4.22  
島村 穰上尾市長 2009.7.30

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18：30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

- 横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）
- 副代表真鍋が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 817] (21. 7. 28)

## ■定例記者会見について

ご連絡が遅くなりましたが以下の日程で定例の記者会見を行います。報道関係各位にはお忙しいところ恐縮ですがご参加いただければ幸いです。

なお、遠方のマスコミの方、一般の方は（株）NetLive のホームページで中継を行いますのでこちらをご覧ください。NetLiveのホームページは<http://www.netlive.ne.jp> です

日程 7月30日木曜 14：00～

場所 調査会事務所3F

内容 0番台リスト追加発表  
「しおかぜ」収録について  
他

## ■NetLiveでインタビュー放送

上記記者会見を中継して下さっている（株）NetLive（砂川昌順代表）では明日29日水曜12：10より（再放送は20：10より）番組「The Interview」を放送します。ゲストは調査会代表荒木です。NetLiveのホームページ <http://www.netlive.ne.jp> をご覧ください。なお、7月15日に放送した横田滋・早紀江夫妻のインタビューはオンデマンドで同じホームページからいつでもごらんになれます。

## ■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンジア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東ア

ジアネットワーク主催)

●大和会館 (米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:長崎さん (090-7376-7803)

★9月29日(火) 18:30「勉強会」(日本会議柏崎支部・ブルーリボン  
柏崎主催)

●柏崎エネルギーホール(柏崎市駅前2-2-30 0257-23-  
3138)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日(月)13時~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県  
民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文  
センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ:救う会神奈川090(9816)2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 816] (21.7.27)

■金正日を国際刑事裁判所に提訴する調査委員会韓国で設立

荒木和博

一週間ほどご無沙汰しておりましたが、この間韓国に行っておりました。  
今回は大部分の日程を「大澤孝司さんと再会を果たす会」(平岡一郎代表)  
の皆さんとご一緒して、大澤孝司さんのお兄さんである大澤昭一さんらとバ  
ルーンプロジェクトを実施したり自由北韓放送や日本大使館を訪問する等、  
短期間ながら有益な日程でした。この模様については以下の「新潟日報」の  
ホームページでご覧になれます。

<http://www.niigata-nippo.co.jp/pref/index.asp?cateNo=1&newsNo=160049>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/pref/index.asp?cateNo=1&newsNo=160058>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/pref/index.asp?cateNo=1&newsNo=160077>

これとは別に、韓国の「拉北・脱北人権連帯」の都希命(ドヒョン)代  
表から「24日に韓国にいるようなら、国際刑事裁判所に金正日を告訴するた  
めの調査委員会(反人道犯罪調査委員会)が結成されるので参加して欲し  
い」と要請され、大澤さんらと分かれた後この設立記者会見に参加してきま  
した。

会場はソウルの中心部にあるプレスセンターで、参加者が300人位来てい  
たでしょうか。拉北・脱北市民連帯が幹事役になり多数の団体が参加してい  
ました。あまり広くない会場でしたが満員でした。私も「せっかく日本から  
来たのだから」ということでスピーチをする機会を与えられ、下手な韓国語  
で話してきました。



金正日を国政刑事裁判所に提訴する話は日本でも出ており、関係団体の間で検討課題になっていますが、今後可能であれば協力をしていきたいと思えます。以下とりあえず当日発表された声明書を掲載します。なお、原文で「北韓」（韓国では「北朝鮮」と言わず通常「北韓」と言う）になっている部分は「北朝鮮」になおしてあります。

---

## <声明書>

金正日を国際刑事裁判所に、北朝鮮住民に自由を！

北朝鮮では金正日による、金正日のための、統治が続いており、北朝鮮住民の生存は崖っぷちに立たされている。

金正日の暴圧統治はキリスト教者と脱北者に対する公開銃殺、女性と子供の性蹂躪、飢えと外国人拉致など、今まさに北朝鮮の地でおきている反人道的犯罪そのものである。

北朝鮮住民は飢えて死につつあるのに天文学的な資金で核兵器を作り国際社会を脅迫し、金日成、金正日世襲統治でも足らず3代権力世襲で北朝鮮住民を崖っぷちに追い込んでいる。

我々はかつて親北左派政権において始まった北朝鮮金正日政権に対する無差別対北バラマキをしっかりと記憶している。「わが民族同士」という感傷的スローガンによって大量の物資が人道的次元で支援されたが、北朝鮮住民は今も飢えに苦しんでおり、先軍政治のスローガンの下金正日とその追従勢力を肥え太らせてきた事実を忘れることはできない。

これに私たちは金正日とその追従勢力を徹底して排撃し、ただ北朝鮮住民の生存と自由伸張のために闘おうとするものである。

国際社会では国際刑事裁判所という正義の機構があり各国で発生する大量虐殺と反人倫的犯罪行為を処罰することによって国際社会の正義を打ち立てる努力をたゆみなく続けている。

国際刑事裁判所はその努力の一環としてスーダンのダルフル虐殺事件に対する責任を問いスーダンの現職大統領であるオマル・アル・バシールに対する逮捕令状を2008年3月4日発布し、コンゴの武装闘争家であるトーマス・ルバンガに対する未成年者誘引拉致、虐待、性暴力等反人倫的犯罪に対し裁判を行っている。国際社会の反人倫的行為者に対する処罰は歩みを止めていない。

北朝鮮金正日とその追従勢力を国際刑事裁判所の法廷に立たせることは国際社会の正義を実現し韓半島の平和と安全そして北朝鮮住民に自由を享受させる歴史的なことだ。

現在北朝鮮政権は国際的孤立を自ら招いており、北朝鮮住民は深刻な食糧難によって生命の安全を保障されずにいる。このような状況で北朝鮮はある日突然崩壊するかもしれない、このような北朝鮮の崩壊は金正日追従勢力による公公然たる虐殺、女性と子供に対する強姦と性暴力、人身売買、乳幼児殺害など善良な北朝鮮住民に対する残酷な人権蹂躪をもたらす可能性が高いの

が現実である。

このような危機状況で北朝鮮住民を残酷な人権蹂躪から保護する努力の一環として、金正日とその追従勢力を国際刑事裁判所の法廷に立たせるのは独裁者の暴圧統治を止まらせる大変効果的な方法になるだろう。

また、同様な同胞である北朝鮮住民の惨状を目の前にして金正日の味方をしたり理念を持ち出す従北勢力は、金正日の共犯であり処罰されることがあることを理解しなければならない。韓国の全ての政治勢力、市民社会勢力、国民は北朝鮮住民を金正日から救うため一つの声で叫ぼう。

「金正日を国際刑事裁判所に！ 北朝鮮住民に自由を！」

2009年7月24日 反人道犯罪調査委員会

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18：30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

## ■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の講演会は本日下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：7月27日(月)18:30

2、場所：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549）

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

3、講師：恵隆之介（ジャーナリスト）

4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」

5、参加費2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継（株）NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい（視聴は無料です）。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です

[調査会NEWS 815] (21.7.21)

## ■高岡拉致未遂事件

荒木和博

※以下は昭和53年8月15日に起きたアベック拉致未遂事件に関する資料です。ご参考までお送りします。私自身この現場には何度か行っているのですが、思いこんでいた事件の概要と異なる部分がありました。分かっているつもりのことでも検証が必要だと痛感した次第です。資料を提供していただいた方にこの場をお借りして御礼申し上げます。

---

昭和53(1978)年8月15日、婚約していた工員のYさん(当時28歳) と和裁専門学校生のHさん(当時21歳)の2人は、富山県高岡市のホテルで双方の親族紹介をおこなった。その後、2人は何人かの親族たちと高岡市太田の海岸に海水浴に行った。白い遠浅が続く砂浜の北側は島尾海岸、南側は松太枝(まつだえ)浜、通称「雨晴(あまばらし)海岸」で、海から立山連峰を望み、雪山を見ながら海水浴ができる名所となっている。

一緒にきていた親族たちは、気をきかせて、2人を残して午後5時頃に先に帰っていった。彼らが泳いでいたのは、島尾海岸と雨晴海岸が接する辺りで、海水浴場の中心から離れており人気は少なかった。海岸沿いを走る国鉄氷見線の線路脇には数軒の民家があるが、松の防風林で砂浜から隔てられていた。

防風林の脇にある道路付近には、海水浴をするでもなく、ただ海を眺めているだけの男達が6人程いた。彼らはそろって白い半袖シャツにステテコ姿だったが、奇妙なことに履き物は、サンダルなどではなく、ズック靴であった。

「近くに泊まっている団体客が夕涼みにきているのか」と、Hさんは受けたが、Yさんは別であった。「どうも目つきがおかしい。注意する必要がある。」と。

2人は1時間程水泳を楽しんだ後、午後6時半、帰り仕度のため、防風林の脇に停めてあった自家用車まで歩いた。そして、車のドアを開けようとした瞬間、6人の男(★警察発表及び当時の新聞報道では4人となっているが、Hさんは週刊朝日の記者に対し、「確かに6人程いた」と答えている。)が横1列になって接近してくるのに気づいた。危険を察した2人は、浜辺を走って逃げたが、6人の男達は、二手に分かれて襲いかかった。Hさんは、砂をかける等して抵抗した。すると1人の男が「静かにしなさい」と言った。

言葉はぎこちなく、「静かにしろ」という命令調ではなかった。結局、取り押さえられたHさんは、タオルで猿ぐつわをされ、手足を縛られ、頭から布袋をかぶせられた。Yさんも相当抵抗したが、3人を相手にしては婚約者を守るところではなく、押さえつけられて、後ろ手に手錠をかけられた。器具の猿ぐつわをかまされた後、足も縛られて布袋に入れられた。男達は2人を現場から数十メートル離れた防風林に運び込み、布袋の上にカムフラージュのため、松の枝をかぶせた。

男たちは何かを話していたが、犬が吠えるのを聞いて会話を止めた。Hさんは必死になって縛られた手で足の紐を解き、布袋から抜け出した。「誰か犬の散歩にきたんだろうと察知し、第三者がいる前では追いかけて来ない」と判断したHさんは、松林を抜け、灯りが灯る民家に助けを求めた。

Hさんは必死に訴えた。その家の主であるMさん(当時60歳)は、その年の3月に高岡署を退職したばかりの刑事で、Hさんの紐を解きながら、紐の縛り方を頭に入れた。MさんはHさんを落ち着かせた後、婚約者の名前を大声で呼ばせた。Hさんは数回、闇に向かって婚約者の名前を呼んだ。すると、「おーい」というYさんの返事が聞こえた。Yさんも、Mさん宅から200メートル程離れたTさん(当時64歳)宅に駆け込んでいたのである。Tさんは、次のように語っている。

「もう暗くなった午後7時過ぎでした。風呂場の戸をたたいて何か言っている声が聞こえたが、酔っぱらいかと思い、しばらくは黙っていた。あまりにも強くたたくので、戸を開けて見ると、袋をかぶせられた人がいてびっくりした。直ぐに息子と娘婿を出し、袋から出し、紐を解いてやった。」

Yさんは、男たちの声がしなくなると、布袋に開けられた空気穴から見える灯りを目標に、袋詰めのまま兎飛びで現場から逃走し、Tさん宅に助けを求めた。その姿は、「オバケのQ太郎」そっくりだったと言う。

現場で発見された遺留品は、タオルを除いて製造場所や販売ルートが不明な外国製と判明した。

(1) 猿ぐつわ 直径13.5?、長さ19?、ゴム製で筒をくりぬいた形をしており、口に当たる部分には呼吸が可能な穴があり、両耳も塞げるようになっていた。日本ゴム協会の調べで、ゴムは日本製ではなく、輸入された外国製でもなかった。接着部分から手製のものと判断された。

- (2) 手錠 粗悪な金属製だが、おもちゃではなく精巧な本物であった。
- (3) 布袋 ナイロン製で、長さ177?、幅78?のモスグリーン色
- (4) 紐 長さ197?、幅8?、柔道の黒帯に似ているが、国産でも輸入品でもなかった。
- (5) タオル 内1本は大阪府下で製造され、富山県内で販売されたものと判明。

これらの貴重な証拠物品は、7年で時効になる直前の1985年7月19日、逮捕監禁・被疑者不詳で不起訴処分が決定した時点で、富山地検高岡支部が廃棄処分している。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18：30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

## ■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

- 1、日程：7月27日(月)18:30
- 2、場所：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549）  
<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&sc1=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

- 3、講師：恵隆之介（ジャーナリスト）
- 4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」
- 5、参加費2000円（戦略情報研究所会員は無料）。
- 6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。
- 7、インターネット中継（株）NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい（視聴は無料です）。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です

[調査会NEWS 814] (21. 7. 21)

※一部の方に重複して送られます。同じ814号が二つ届いていたらお手数ですが前のものは削除願います。

※前号ニュースの冒頭で宮内和見さんを宮内和也さんのお母さんと書きましたが、お父さんの誤りです。お詫びして訂正いたします。

## ■このニュースのバックナンバーについて

ニュースのバックナンバーは調査会のホームページに掲載していますが、掲載が滞りがちでご迷惑をおかけしています。とりあえず、最近のものは調査会代表荒木が代表を兼任している予備役ブルーリボンの会のホームページに掲載してあります。そちらをご利用下さい。

<http://chousakai.sblo.jp/>

## ■DVD好評発売中

すでにお知らせしていますが、二つのDVDが意外に(?)好評です。小規模な勉強会、ご家庭等でもお使いになれますのでぜひご利用下さい。

- 1、『拉致問題の「何故？」に答える』（20分30秒）

北朝鮮による拉致事件の概要について説明したものです。とくに講演会などの折によく出てくる質問（なぜ北朝鮮は拉致をしたのか、など）について説明しています。

- 2、『なぜデータは偽造されたのか』（24分）

特定失踪者山本美保さん（昭和59-1984-年6月4日、山梨県甲府市で失踪）に関するDNAデータ偽造疑惑事件の解説です。拉致問題が日本の国内問題であるという一つの象徴がこの事件です。一人でも多くの方に知っていただきたく思います。

※どちらも代表荒木が解説するもので、企画協力・特定失踪者問題調査会制作・映像教育研究会。価格はどちらも1枚2000円（カンパ込み・送料調査会負担）です。お申し込みは調査会まで。ただししおかぜネットワーク参加団体及び特定失踪者家族、家族会は1000円になりますので、お申し込みの際その旨お伝え下さい。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月9日（日）10：00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18：30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表  
([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：7月27日(月)18:30

2、場所：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549）

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&sc1=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

3、講師：恵隆之介（ジャーナリスト）

4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」

5、参加費2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継（株）NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい（視聴は無料です）。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です

[調査会NEWS 813] (21.7.18)

## ■宮内和見さんから官房長官への要望書

※ 以下は7月1日に特定失踪者宮内和也さんのお母さんである宮内和見さんから河村官房長官に手渡された要望書です。（■の部分は省略）

### 要望書

日頃は、ご公務におかれまして拉致被害者関連に対し格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、福井県嶺南地区には北朝鮮による拉致の可能性が高い特定失踪者が3名います。その中に、私の息子宮内和也（みやうちかずや）がいます。

宮内和也の失踪当時の状況につきまして簡単ではありますが報告をさせていただきます。

本籍地 福井県三方上中群若狭町■

現状所 福井県三方上中群若狭町■

生年月日 1975年（昭和40年）1月27日生

息子和也は、若狭町（旧三方町）役場教育委員会に勤務しており、その勤務中において1997年（平成9年）4月24日若狭町世久見漁港に隣接しているB&G艇庫（カヌーボートの収納施設）とナホトカ号重油流出（同年2月若狭湾沿岸重油流出）事故等を見回り調査に行く と、職場の同僚に連絡をして出かけました。以降そのまま帰らず今日に至っております。

失踪当時には、関係各位、ボランティアの方々及び、警察、保安庁の方々、そして海辺には95隻の船舶と延べ1200名余の方々にお世話になりました。手がかりとしては、二つに割れたカヌーボートが二日後消波に突き刺さった状態で発見され、またジャンパーの上に石置かれ全く不自然な状態で発見されました。他には何（消波ブロック）の手がかりもありませんでし



た。

宮内和也をよく知っている地元の漁師の方々は、「彼は海をよく熟知している男であり、あの様な荒れた状況の海に出る事は考えられない」と言っておられる。（失踪当時は、海が大荒れで大敷き網漁業が中止して出向が不可能な状況でありました。）

又、自分自身のウェットスーツがロッカーに収納されており持ち出された形跡等がなく、地元の方々は、「ウェットスーツを着用しないでボート等に乗船している姿を見たことがない」と言っておられます。

私自身の職場の状況及び日頃の生活環境から見て絶対に拉致に間違いがないと確信をしています。

息子和也の生活環境につきましては、子供3名に恵まれ大変子煩悩で、幸せな家庭を築きつつ家の改築の計画を話し合っていました。自分勝手な行動をする息子ではないと堅く信じています。

息子和也がいなくなっから、もう12年の月日が経過した今日3名の孫たちが不憫で可哀想でなりません。私自身、息子が元気で居てくれることを信じています。

写真に陰膳をし神佛様に毎日お願いを致しております。

1日も早い真相究明と政府の認定と今後の朗報を千秋の思いで待っています。

拉致被害者の方々は、政府認定者12名、救う会認定者19名、特定失踪者問題調査会が1000番台リスト（拉致の可能性が高いとした者）71名、0番台リスト（北朝鮮に拉致された疑いを否定出来ない失踪者）198名の方々がいます。

私達家族は必死の思いで毎日の生活を送っていますが、もう限界です。一刻も早い誠意ある対応を待ち望んでいます。

政府の対応が待ち切れません。

どうか北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会の皆様方のお力によって日本政府認定につながる再調査をお願い申し上げます。

息子「和也」は北朝鮮の何処かで助けを今日か、明日かと手を合わせて待ち続けています。茲に伏してお願い申し上げます。

つきましては、11月7日（土）福井県鯖江において国民大集会が開催されますが、この国民大集会におかれまして福井県嶺南地区特定失踪者の家族に、「拉致被害者家族の声」として発表のお時間を30分程頂けないでしょうか。是非とも御検討のほど節にお願い申し上げます。

平成21年7月1日

福井県三方上中郡若狭町 ■ 父 宮内 和見

内閣官房長官 河村建夫殿

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月19日（日）13:00「拉致被害者の早期救出を求めるフォーラムin仙台」（救う会宮城・北朝鮮拉致被害者の日本人を救出し支援する宮城県議の会・同仙台市議の会主催）

●勾当台公園野外音楽堂（仙台市青葉区本町 地下鉄南北線勾当台公園駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会宮城 安藤会長（090-3755-5893）

★8月9日（日）10:00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★9月29日（火）18:30「勉強会」（日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催）

●柏崎エネルギーホール（柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：植松和彦ブルーリボン柏崎代表（[k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com)）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：7月27日（月）18:30

2、場所：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549）

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

3、講師：恵隆之介（ジャーナリスト）

4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」

5、参加費2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継（株）NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい（視聴は無料です）。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です

[調査会NEWS 812] (21. 7. 17)

### ■海上保安庁に要請

本日13時代表荒木、理事曾田の2名が海上保安庁を訪れ、海上・港での失踪者の問題及び北朝鮮工作船事案に関する問題などについて要請を行いました。海上保安庁からは土屋知省総務部政務課長が対応しました。調査会からは下記の要請文、非公開者まで含めた海関連42名の特定失踪者リストとすべての失踪・拉致事件と北朝鮮によるスパイ事件などを時系列にまとめた資料をお渡しし、協力をお願いしました。

平成21年7月17日

海上保安庁長官 岩崎 貞二 様

特定失踪者問題調査会代表 荒木

和博

拉致問題に関わる要請について

拝啓

平素海上の安全と治安の確保のため献身的な任務遂行をされておられることに心より敬意を表します。また、拉致被害者救出のための私たちの活動にも中央地方を通じご協力をいただいていることに感謝申し上げる次第です。

さて、私共が調査対象としております特定失踪者には相当数の海上及び港湾での失踪者がいます。また、日本国内からの拉致の場合、その大部分は海路北朝鮮に被害者が移送されたものであり、その意味ではほとんどの拉致事件は何らかの形で海上保安庁に関連する事案であることも明らかです。つきましては下記の通り要請し、早急な対処をお願いする次第です。

記

1、海上並びに港湾における失踪者についての再度の調査

別紙資料の通り、特定失踪者の中でも船舶乗船中の失踪、港湾での失踪が相当数あります。港湾での失踪でも大部分は近隣の海底まで調べたものの、何も見つからなかったケースであります。再度これらのケースについて調査をしていただき、可能な限り情報開示をされるようお願い申し上げます。また、海上保安庁の判断として拉致の可能性が高いと思われるものは拉致認定すべきであると上申いただければ幸いです。

## 2、北朝鮮工作船に関わる情報の開示と精査

北朝鮮の工作船（不審船）が戦後今日まで長期にわたり日朝間を行き来し、いわゆる「対日有害活動」に従事してきたことは明らかなです。広い領海・排他的経済水域と長い海岸線を持つ我が国の地理的条件からしてこれを海上保安庁のみが対処するのは不可能に近く、したがって工作船の出入りを海上保安庁の責任とするつもりは全くありませんが、少なくとも可能な範囲最大限の情報開示は拉致問題の真相究明のためにも、また国民の啓蒙のためにも必要であると考えます。ぜひご考慮いただきたくお願いする次第です。

以上

### ■山下きよ子さんから官房長官への手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者山下貢さんのお母さんである山下きよ子さん  
から河村  
官房長官に手渡された手紙です。

#### 要 望 書

日頃は、ご公務におかれまして拉致被害者関連に対し格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。現在、福井県嶺南地区には北朝鮮による拉致の可能性が高い特定失踪者が3名います。その中に、私の息子 山下貢（やましたみつぐ）がいます。

山下貢の失踪当時の状況につきまして簡単ではありますが報告をさせていただきます。

本籍地 福井県敦賀市 ■ 現状所 福井県敦賀市 ■

生年月日 1950年（昭和25年）7月5日生

平成元年（1989年）12月27日、息子 貢が「越前海岸へ釣りに行く」と言って、一人で、朝、午前5時前に家を出ました。いつもであれば午後2時過ぎには必ず帰宅していましたが、当日は、午後4時になっても帰宅しないため、越廼村に嫁いだ娘に連絡をし釣り現場に急行しました。

いつもであれば午後2時過ぎには必ず帰宅していましたが、当日は、午後4時になっても帰宅しないため、越廼村に嫁いだ娘に連絡をし釣り現場に急行しました。午後4時30分頃です。

午後5時には、家族・警察の方々・住民の方々が捜査に協力して頂きました。貢の自家用車のみが発見されました。車両には鍵がかけられ、釣り竿やえさ箱などは発見されなかった。

失踪当時状況について、釣り仲間で会社の友人である●●さんから頂きました。

「12月25日に釣りに来て、鰹を大量に釣りました。この事を翌日（12月26日）に会社で貢さんに伝えました。貢さんなら必ず同じこの釣り場に来たに違いないと考えられる。この釣り場は、私たちであれば真夜中懐中電灯がなくても簡単にたどりつく場所です。貢さんは海に落ちるとは考えられない。」

12月27日の捜査の段階では海が荒れて波がこの地点まで来ていました。当然、えさ箱はありませんでした。翌日（12月28日）になってこの地点でえさ箱が発見されますが貢はこの場所で釣りをしていません。

貢には、目に入れても痛くないほど可愛い二ヶ月の長男がおり、失踪する動機が考えられません。

さらに、失踪後数回の無言電話が続き、「ごめんな」と一言が最後になりました。私自身 あらゆる現状から 拉致として確信を抱きました。

失踪してから 20年の月日が過ぎ 私も85歳になりました。精神的・体力的にも もう限界です。日本政府におかれまして一刻も早い 誠意ある再調査をお願い致します。

息子『貢』は、北朝鮮の何処かで日本政府の助けを求め、1日1日が必死の状態です。どうかお助け下さい。

心からお願い申し上げます。

平成21年7月1日

福井県敦賀市● 山下 きよ子  
内閣官房長官 河村 建夫 殿

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月19日（日）13:00「拉致被害者の早期救出を求めるフォーラムin仙台」（救う会宮城・北朝鮮拉致被害者の日本人を救出し支援する宮城県議の会・同仙台市議の会催）

●勾当台公園野外音楽堂（仙台市青葉区本町 地下鉄南北線勾当台公園駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会宮城 安藤会長（090-3755-5893）

★8月9日（日）10:00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保さんの家族を支援する会主催）

●甲府市西部市民センター（甲府市長松寺町12-30 055-225-1762）

●理事山下が参加

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考

える川口の会主催)

- フレンディア (京浜東北線川口駅東口キュポラ4F)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ: 飯塚さん (048-267-0687)

★9月26日(土) 13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」(東アジアネットワーク主催)

- 大和会館(米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ: 長崎さん (090-7376-7803)

★9月29日(火) 18:30「勉強会」(日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催)

- 柏崎エネルギーホール(柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138)
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ: 植松和彦ブルーリボン柏崎代表 ([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日(月)13時~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

- 横浜情報文化センター情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)
- 副代表真鍋が参加
- 問い合わせ: 救う会神奈川090(9816)2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

## ■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

- 1、日程: 7月27日(月)18:30
- 2、場所: UIゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549)

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

- 3、講師: 恵隆之介(ジャーナリスト)
- 4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」
- 5、参加費2000円(戦略情報研究所会員は無料)。
- 6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。
- 7、インターネット中継(株)NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい(視聴は無料です)。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です

[調査会NEWS 811](21.7.17)

※前にお送りした同じ811号は題名が810号のものから直っていなかったのと、海上保安庁への要請の日付が間違っておりましたので送り直します。恐

縮ですが前のものは削除をお願いします。なお、送信が17日になってしまいましたので、日付に関わる文面も若干直してあります。

## ■明日海上保安庁に要請

調査会では本日17日（金）13時より代表荒木ら役員が海上保安庁を訪れ、海上・港での失踪者の問題及び北朝鮮工作船事案に関する問題などについて要請を行う予定です。

## ■本日発売の「フライデー」記事について

荒木和博

昨日（16日）発売された7月31日号の週刊誌「フライデー」に掲載された記事によれば、平成15（2003）年5月20日に大阪府熊取町の自宅近くで失踪した吉川友梨ちゃん（当時10歳）の事件について、警察OBが北朝鮮による拉致の可能性があると証言しているとのことでした。

本件に関し、拉致であるかどうかについて、まだ明確なコメントができる立場ではありませんが、とりあえず次のことは申し上げておきたいと思えます。

### 1、北朝鮮は拉致をやめていない

最近でも北朝鮮は拉致を行っている可能性があり、これからも行う可能性があります。したがって6年前の事件だからといって拉致でないとの断定はできません。

### 2、子供の失踪者は相当数いる

もちろん、他の事件や事故の可能性もありますが、公開の特定失踪者リストでも竹内久美子さん（昭和50年、13歳）、藤倉紀代さん（昭和55年、12歳）、藤倉靖浩君（同、11歳）、松岡伸矢君（平成元年、4歳）らがあり、それ以外に非公開の人も数人います。また、若干ケースは異なりますが、警察が拉致と断定している高敬美・剛姉弟（昭和49年、6歳と3歳）の事件もあります。子供であるから北朝鮮による拉致でないとは断定できません。

以上のようなことで、私たちとしては今後ご家族等関係者の方々とも連絡をとって対応していきたいと思っております。本件に関して情報のある方はぜひお寄せ下さい。

## ■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月19日（日）13:00「拉致被害者の早期救出を求めるフォーラムin仙台」（救う会宮城・北朝鮮拉致被害者の日本人を救出し支援する宮城県議の会・同仙台市議の会主催）

●勾当台公園野外音楽堂（仙台市青葉区本町 地下鉄南北線勾当台公園駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会宮城 安藤会長（090-3755-5893）

★8月9日（日）10:00「山本美保さんの調査経過報告会」（山本美保

さんの家族を支援する会主催)

●甲府市西部市民センター (甲府市長松寺町12-30 25-1762)

055-2

●理事山下が参加

★8月22日(土)14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」(拉致問題を考える川口の会主催)

●フレンディア(京浜東北線川口駅東口キュポラ4F)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:飯塚さん(048-267-0687)

★9月26日(土)13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」(東アジアネットワーク主催)

●大和会館(米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:長崎さん(090-7376-7803)

★9月29日(火)18:30「勉強会」(日本会議柏崎支部・ブルーリボン柏崎主催)

●柏崎エネルギーホール(柏崎市駅前2-2-30 0257-23-3138)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:植松和彦ブルーリボン柏崎代表([k.nipponkaigi@gmail.com](mailto:k.nipponkaigi@gmail.com))

★10月12日(月)13時~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ:救う会神奈川090(9816)2187又は[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

## ■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程:7月27日(月)18:30

2、場所:UIゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549)

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

3、講師:恵隆之介(ジャーナリスト)

4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」

5、参加費2000円(戦略情報研究所会員は無料)。

6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継(株)NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい(視聴は無料です)。NetLiveのホームページは <http://www.netlive.ne.jp> です



[調査会NEWS 810] (21. 7. 14)

## ■山下寛久さんから官房長官への要望書

※以下は7月1日の要請の際に河村官房長官に手渡された山下春夫さんのお兄さん、山下寛久さんからの要望書です（一部個人名を伏せてあります）。なお、山下寛久さんご自身は体調を崩されており、当日の要請には参加できませんでした。

### 要望書

日頃は、ご公務におかれまして拉致被害者関連に対し格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。現在、福井県嶺南地区には北朝鮮による拉致の可能性が高い特定失踪者が3名います。その中に、私の弟山下春夫（やましたはるお）がいます。

山下春夫の失踪当時の状況につきまして簡単ではありますが報告をさせていただきます。

本籍地 福井県小浜市（以下省略）  
現状所 福井県小浜市（以下省略）  
生年月日 1946年（昭和21年）3月25日生

昭和49年8月17日、小浜ドック造船会社前の堤防へ夜釣りに出かけました。そのまま行方不明となりました。

失踪当時、現場には靴が残されてバラバラになっていました。誰かと争った形跡が考えられます。会社と釣りの現場は直線で約70メートルの距離です。

春夫は、田鳥の海育ちであり水死する様な男ではありません。

当時、春夫は寮を住居とし四国からの5名の方々と一緒に勤務をしていました。

春夫の勤務状況につきまして、当時の●●さんに伺いました。

「春夫さんは、仕事にも慣れ船大工として山脇宏社長（故人）から一目おかれて、彼自身の船への執着心が強く社内でも評判でした。

ある日の事でしたが、『見慣れない男が貴方の会社でプラスチック船の修理の上手な職人はいますか？』と伺って来た事を社長が聞きました。

社長も北に拉致されたに間違いはないと言っておられました」

春夫が失踪する2ヶ月前（1974年6月）に、高敬美さん・高剛さんが岡津海岸から北朝鮮に送り出されています。春夫の失踪現場から車で15分程の場所です。この事件に春夫も関連していると思われます。

私は春夫が拉致されたと確信致しております。

私には時間がありません。精神的・体力的にももう限界です。一刻も早い日本政府の徹底した再調査をして頂き誠意ある対応を心からお願い申し上げます。

平成21年7月1日

山下寛久

内閣官房長官 河村建夫殿

### ■戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：7月27日(月)18:30～20:30

2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16tel03-3288-3549）

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&n1=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

※市ヶ谷駅下車3分日本棋院斜向い

3、講師：恵隆之介（ジャーナリスト）

昭和29年沖縄県コザ市（現沖縄市）出身。防大卒・海上自衛隊で艦隊勤務。2等

海尉（海軍中尉）で退官、琉球銀行勤務等を経て現在ジャーナリスト。沖縄問題などで活躍。著書に『誰も書かなかった沖縄』『敵兵を救助せよ！』『海の武士道』など。

4、テーマ「沖縄の危機、日本の危機」

5、参加費2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

7、インターネット中継（株）NetLiveのご厚意によりインターネットでの中継を行います。遠方等で参加できない方はご利用下さい（視聴は無料です）。NetLiveのホームページは下記のアドレスです。

<http://www.netlive.ne.jp>

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月19日（日）13:00「拉致被害者の早期救出を求めるフォーラムin仙台」（救う会宮城・北朝鮮拉致被害者の日本人を救出し支援する宮城県議の会・同仙台市議の会主催）

●勾当台公園野外音楽堂（仙台市青葉区本町 地下鉄南北線勾当台公園駅下車）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会宮城 安藤会長（090-3755-5893）

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口キュポラ4F）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：飯塚さん（048-267-0687）

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4Tel0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口0分JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川090（9816）2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 809] (21. 7. 13)

■山本美保さんに関わる「DNAデータ偽造疑惑事件」解説DVD発売

拉致問題解説DVD第2弾！として「山本美保さんに関わる『DNAデータ』発表に疑義あり 何故データは偽造されたのか」を作成しました。

全編24分 調査会代表荒木が解説します。 調査会のホームページに紹介がありますのでご覧下さい。

[http://www.chosa-kai.jp/photo2/dvd2\\_2.jpg](http://www.chosa-kai.jp/photo2/dvd2_2.jpg)

お申し込みは調査会まで。価格は1枚2000円（カンパ込み、送料調査会負担）です。ただししおかぜネットワーク参加団体、特定失踪者家族、家族会は1000円になります。お申し込みの際その旨明記下さい。なお恐縮ながら代金先払いになりますので、郵便振替で通信欄にご注文をお書きになるか、銀行振り込みの場合はメールないしFAXで入金をご通知下さい。その際送付

先もお忘れなきようお願いいたします。

ミステリーのような話ですが、この問題は単に山本美保さんのことではなく、特定失踪者問題、というより拉致問題の本質に関わることです。多くの方に見ていただくようお願い申し上げます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 808] (21.7.12)

※このニュースは一部の方に重複して配信されています。同じ内容ですので、恐縮ですが808号が2通届いた方は片方を削除願います。

■浅野恵美子さんから官房長官への手紙

※ このお手紙はこれまでご紹介したものと異なり7月1日には間に合わなかったのですが、その後調査会に託されたもので、特定失踪者加藤小百合さんのお母さんである浅野恵美子さんが河村官房長官に宛てて書いたものです。7月6日に荒木が内閣府の拉致対策本部に届けました。

河村官房長官  
政府関係者各位

前文ご免下さいませ。

早速でございますが、先日7月1日特定失踪者問題調査会から要請に上りました時、一緒にお届けするはずでしたが、本日遅れ馳せに一筆申し上げます。

私の娘小百合（当時33才）が13年前行方不明になり、北に居るのでは

ないかと昨年11月に知らされました。

失踪当時は、私共夫婦は徳佐に住んで居りまして、娘小百合もその子ども達を連れ、夏休みを徳佐で過ごし、神戸に帰りました。神戸の自宅には源氏巻の手みやげなどもそのままで軽装で出て行ったきりになりました。私共あちこちと頭を打ち乍ら、調査会にもご相談し探しましたが、行方知れずのまま時が経ちました。婚家の戸籍も抹消され居場所のない娘を思い、止むを得ず吊ってもやりました。

所が先般、週刊現代にスクープとして、娘に似た人を見たと言う記事が出て、北で生きているのかも知れないと、一層強い思いを持つようになりました。

不確かな情報であっても、藁にもすがりたい思いで、それに希望を繋いでいます。

何故こんな事になったのか、身体が丈夫とも思えなかった娘が厳しい環境の中で、何を食べ、何をしているのか、或いはさせられているのか、思考は同じ回路を行きつ戻りつするばかりです。

横田さんを始め家族会の皆さんは何十年の歳月を期待しては裏切られ心の晴れる日もなく、ここまで来られたと思いますが、皆な同じ不幸を背負っています。そして私が77才になりますように、中心となるべき家族が、日毎に老い衰え死がせまっています。私共にはなすすべもなく、一日も早い交渉を待ち望んでいます。

北との関係も益々むつかしく大変なご苦勞と思いますが先の請願をお汲み取りの上御尽力頂きますよう切にお願い申し上げます。

申し遅れましたが、私の実弟神田弥一郎（徳佐）が河村先生をお慕いし、又長きに渡り御交誼頂いて居りますこと、感謝いたして居る所でございます。私もこのような場でお目文字するとは夢にも思っていませんでした。山口に居ます頃何度かお目にかかっていると思いますが、御活躍はテレビ等で身近に感じて居ります。

梅雨の空模様が明けますと酷暑の季節となり今年は一層熱い夏になるかと存じますが、呉々も御身体御自愛の上、御活躍下さいませようお祈り申し上げます。

先はお願いまで  
かしこ

乱筆乱文お許し下さいませ

7月3日

浅野恵美子（現住所大阪高石市）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

- フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）
- 代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 807] (21.7.11)

#### ■宮本剛志さんから官房長官への手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者宮本直樹さんのお兄さんである宮本剛志さんから河村官房長官に手渡された手紙です。（当日手渡されたものはお父さん、お母さんからのものもありますが、ここではお兄さんのもののみご紹介します。）

河村官房長官  
政府関係者各位

宮本直樹、及び多数の特定失踪者に関する要望書

2009年7月1日

特定失踪者宮本直樹家族 兄：宮本剛志  
（父：宮本正栄 母：宮本はるみ）

拝啓

平素は、特定失踪者である宮本直樹、及び私共家族についてご理解いただき心よりお礼申し上げます。さて、この度は、宮本直樹、及び多数の特定失踪者の捜査、調査、認定未認定に関わらず北朝鮮への働きかけを強く要望いたします。

2002年に宮本直樹がいなくなり、家族全員が地獄の底に落とされたような日々を過ごしております。

新門司港行きの東京湾フェリー内で、直樹の所持品が見つかりました。しかし、その後、目撃者も手がかりもまったくなく、フェリーに乗った“可能性”しかありませんでした。

当時、拉致の可能性もあり、事件性があつたにも関わらず、警察に搜索願

を出しても、捜査どころかむしろ、煙たがられ、「20歳を超えた大人なのに何を言っているんだ。」というような言葉を吐かれました。海上保安庁からも、邪魔者扱いをされました。とても傷つきました。

当日は、日曜日の夜でフェリーの乗客は少なかったはずですが。乗客への確認や、フェリー内の指紋確認すらもしていただけませんでした。いつの間にか何の報告もなく、捜査結果すらも知らされないまま今日に至っております。特定失踪者に対しては、何の働きかけもしていただけないのでしょうか。不安で不安でたまりません。

両親共、高齢になり体も悪くなってきております。両親の元に、一刻も早く連れ戻してやりたいという気持ちでいっぱいです。早く会わせてあげたいと強く願い、活動しております。私共だけではなく、特定失踪者は多数おります。どのご家族もみなさん、同じ思いです。家族の元に返してほしい、捜査をしてほしい、国が責任持って国民の生命を守ってほしい、という普通のことだけを望んでおります。

何卒、私共家族を見捨てず、認定未認定に関わらず、多数の特定失踪者も捜査ならびに、取り戻すよう働きかけただけであれば、幸いです。なお、念のため宮本直樹について、お知らせいたします。何卒、宜しく願い申し上げます。

敬具

<宮本直樹について>

失踪日 : 2002年3月3日

当時年齢 : 24歳(現在、32歳)

特徴 : 鼻の下から上唇にかけて手術の跡あり

住所 : (省略)

■調査会役員の参加する講演会等の予定(一般公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★8月22日(土)14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」(拉致問題を考える川口の会主催)

●フレンディア(京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F)

●代表荒木が参加

★9月26日(土)13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」(東アジアネットワーク主催)

●大和会館(米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688)

●代表荒木が参加

●問い合わせ:長崎さん(090-7376-7803)

★10月12日(月)13時~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ:救う会神奈川

090(9816)2187又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 806] (21. 7. 10)

■河嶋愛子さんから官房長官への手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者河嶋功一さんのお母さんである河嶋愛子さんから河村官房長官に手渡された手紙です。(●はご住所の部分で省略してあります。また、メールを読みやすくするため一部改行してあります。また、詳細を記した別表がありますが省略しました)

内閣官房長官 河村建夫様

お願いを申し上げます。

この度はお忙しい中誠に有り難うございます。

1982年3月21日横浜市金沢区州崎より行方不明

静岡県浜松市●河嶋功一

1982年3月20日関東学院大学を卒業した息子功一の日程に合わせて下宿に荷物を引き上げに行き車に荷物を積んで居るうち生憎雨が降りだし車の中に息子が乗るスペースが無く 先に新幹線で帰るようにと下宿より 30メートル位の所迄見送り浜松に帰って居るはずの功一の姿は私達が帰った時には有りませんでした。

私達は一旦荷物を降ろし再び横浜へと引き返し一日中探したが誰一人息子に会った人は無く、取り敢えず金沢警察に捜索願いを22日提出し戸籍が浜松だから浜松にも捜索願いを提出して置くように金沢警察の方に勧められ翌23日に浜松中央署にも捜索願いを提出し二年毎に一度の捜索願いと本人不在の住民票を取り捜して参りました。

※ 2002年小泉総理が北朝鮮を訪朝し蓮池さん達拉致被害者三家族が帰って来たとき息子功一も拉致されて居るのではと思ひ調査会と言う所がある事を知り一度依頼するように勧められ特定失踪者問題調査会に依頼し功一の行方不明を知った高校時代の同級生の人達が【河嶋功一を探す会】を作って私達家族を支援してくれています。

私は今この人達の暖かい支援に支えられ息子を捜し続けて居ります。今、拉致の可能性を排除出来ない調査会の1000番台リストに入、功一ではと情報が寄せられ2007年には韓国まで足を運び情報を確かめにいき、今又別表記してある情報も出ています。この情報の信憑性を確かめる為 現在神奈川警察に鑑定は依頼致して居りますがこの写真の件は 一日も早く政府の力で調査して戴きたいのです。

今、功一の父孝浩は病床に伏命の危険と戦っています。一刻の猶予も有りません。宜しく願います。こうした事は私の家だけでは有りません。失踪者の家族皆さん高齢になりこうして家族を待ち続けております。政府拉致認定者だけでは無い、こうして安否を待ちわびて要る人達家族を見捨て無いで下さい。一日も早い救出を宜しくお願い申し上げます。

失踪者 河嶋 功一 母 河嶋 愛子



■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 805] (21.7.9)

■鈴木智さんから官房長官への手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者鈴木賢さんのお兄さんである鈴木智さんから河村官房長官に手渡された手紙です。

要望書

内閣官房長官河村建夫様

この度は、内閣の要として、ご多忙の所、私供特定失踪者家族に貴重なお時間を頂きまして有り難うございます。

私、特定失踪者「鈴木 賢」の兄ですが、現在、拉致被害者救出の道は、膠着状態を打開出来ず、大変危機感を持っておりますが、幾つかの要望が有りますので、長官のご手腕によりまして実行に移して頂きます様お願い申し上げます。

～特定失踪者の存在を認知してほしい～

特定失踪者の名称、存在が認知されていない現状が有ります。

本来なら拉致の可能性が有れば、国として取り上げ、国として調査すべき問題だと思えます。北朝鮮が拉致した日本人を全公開したら国の認定者数よりも、民間の調査会が公表している特定失踪者数の方が相当数上回る事も考えられます。

国として特定失踪者の追跡調査、情報収集搜索を全力を上げて実施して下さい。

～特定失踪者の調査、情報開示を～

特定失踪者の失踪時期、失踪の動機が無い目撃情報、証言等、国認定者と類似している。

特定失踪者として調査会に届出してる人は、搜索願いを最寄りの警察に提出済。拉致の疑いの高い人は、告発・告訴している。

どこ迄調査、搜索したのか、経過、結果の説明と資料等の開示をしてほしい。

～特定失踪者の政府認定を～

北朝鮮に拘束されている拉致の疑いの高い特定失踪者は、国籍・戸籍も解らず、日本からの光を照てられる事もなく、人間としての尊厳を奪われても、尚、日本からの救出を待ち続けている。同胞は間違いなく北朝鮮に生存しています。

このまま推移すると、国は、テロ国家北朝鮮の完全犯罪を黙認する事になる。

私、現在、川口市出身の拉致被害者、田口八重子さんの家族と特定失踪者家族、さらに私供を支援下さる多くの市民の皆様と「拉致問題を考える川口の会」として定例的な街頭活動を行ってますが、何としても拉致問題は、我々の世代で解決せねば、未来永劫に渡って悔いを残す事になると思うので国としても道筋を決めて、拉致被害者救出に全力で取り組んでほしいと要望致します。

21. 7. 1.

特定失踪者 鈴木 賢 兄 鈴木 智

■しおかぜネットワーク参加組織65に

このたびしおかぜネットワークに町田救う会（大西宣也代表）が加わり65団体になりました。

ARNKA（海老原智治）

安達俊之さんを思う会（河原秀昭）

映像教育研究会（稲川和男）

大澤孝司さんと再会を果たす会（平岡一郎）

河嶋功一君を探す会（脊古道大）

北朝鮮人権委員会（鶴崎和男）

経営者ブルーリボンの会（刈屋隆）  
国民新聞しおかぜ友の会（山田恵久）  
埼玉しおかぜの会（武藤政春）  
桜応援団（近藤誠）  
35生島孝子の会（生島敦子）  
庄内ブルーリボンの会（佐藤忠智）  
新風・たすけあひ機構（魚谷哲央）  
救う会愛知（宮地憲康）  
救う会秋田（秋田地区）（松村譲裕）  
救う会秋田（北秋田地区）（福岡雅子）  
救う会石川（米光正次）  
救う会いばらき（松尾秀雄）  
救う会愛媛（中矢民三郎）  
救う会大分（伊藤田雄三）  
救う会神奈川（川添友幸）  
救う会金沢（川裕一郎）  
救う会岐阜（吉田安孝）  
「救う会群馬」群馬ボランティアの会（大野トシ江）  
救う会高知（森田和博）  
救う会埼玉東部の会（古藤勝次）  
救う会・堺（西村真悟）  
救う会千葉（中村実）  
救う会徳島（陶久敏郎）  
救う会富山（濱谷隆平）  
救う会長野（塚田俊明）  
救う会奈良（佐藤一彦）  
救う会兵庫（長瀬猛）  
救う会福岡（青木英實）  
救う会ふくしま（菅野重信）  
救う会三重（森田優）  
救う会宮城（安藤哲夫）  
救う会宮崎（吉田好克）  
救う会山形（齋藤純一）  
園田一・トシ子夫妻の家族を支援する会（栞山正木）  
CHOSUN BAND RESEARCH（柘植裕子）  
つくば、しおかぜ会（新井佐和子）  
電脳補完録（山本孝司）  
東京ブルーリボンの会（河村裕子）  
特定失踪者問題調査会（荒木和博）  
長崎拉致被害者救出ネットワーク（北村芳正）  
中村三奈子さんをさがす会（金井英雄）  
日本映画ファンしおかぜの会（三浦小太郎）  
日本青少年（西山俊一郎）  
浜松ブルーリボンの会（石川博之）  
東アジアネットワーク（石原倫理）  
東アジアネットワーク広島（安藤宗光）  
古川了子さんの救出を支援する会（竹下敦之）  
ブルーリボン柏崎（植松和彦）  
法律家の会（土田庄一）  
町田救う会（大西宣也）  
民社人権会議（田久保忠衛）  
山形ビジョンの会（工藤清）  
山本美保さんの家族を支援する会（清水仁）

予備役ブルーリボンの会（荒木 和博）  
拉致事案全般研究会（松田紗織）  
拉致被害者を救うコスモスの会（山本正治）  
拉致問題解決を目指す会（甲斐直樹）  
嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会（森下裕）  
ワシントンDCらち連絡会（浅野泉）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」  
（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）  
●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）  
●理事三宅が参加  
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）  
●フレンドィア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）  
●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）  
●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）  
●代表荒木が参加  
●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）  
●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）  
●副代表真鍋が参加  
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 804] (21.7.8)

■徳島県知事「しおかぜ」収録

担当理事 村尾建児

7月2日、飯泉嘉門徳島県知事の「しおかぜメッセージ」の収録が行われました。今回は県側のご希望により、地元での収録となりました。

徳島県に関わる特定失踪者のお名前の読み上げから始まったメッセージは、首長にふさわしい毅然とした声で、北朝鮮への怒りと、拉致問題解決への意欲が漲っていました。そして残されたご家族のお気持ちを労いながら、引き離された家族の絆に胸を痛める思いをメッセージに込め、拉致問題早期解決を切望する強い言葉でお話くださいました。以下、メッセージの一部分

です。

「徳島県民、そして、すべての日本国民も、皆さんが帰って来る日を待ち望んでいます」

「みなさん、どうかお体を大切に頂き、日本に帰って、暖かい家族の団らんを取り戻す、その日が必ず来る事を信じて頑張ってください」

飯泉徳島県知事は全国の知事として7番目の収録となりました。このメッセージは以下のスケジュールで放送致します。知事収録にあたり、ご協力いただいた皆様に感謝すると共に、飯泉知事にはご多忙の中スケジュールを調整し、メッセージをくださった事、深くお礼申し上げます。

#### ◆飯泉徳島県知事メッセージ放送予定

日本語ニュース「日本海に架ける橋」		
朝鮮語ニュース「シオカゼ・ソシク」	(翻訳)	
初回放送		周波数
7月18日夜	11:00~11:30	5910kHz
7月19日朝	5:30~6:00	6045kHz
7月19日夜	11:00~11:30	5910kHz
7月20日朝	5:30~6:00	6045kHz
リピート放送		周波数
7月25日夜	11:00~11:30	5910kHz
7月26日朝	5:30~6:00	6045kHz
7月26日夜	11:00~11:30	5910kHz
7月27日朝	5:30~6:00	6045kHz

以降ランダムでリピート放送します。

※周波数は北朝鮮の妨害電波により、変更される場合があります。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンジア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県

民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川

090(9816)2187又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 803](21.7.8)

■ 山本美保さんの家族・支援する会・調査会から河村官房長官への要請文と手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者山本美保さんに関し河村建夫官房長官に届けられた要請文書と手紙です。当日ご家族は出席できず、かわって荒木からお渡ししました。

なお、現在調査会では山本美保さんに関わる「DNAデータ偽造疑惑事件」について、その概要を説明するDVDを製作中です。

(要請文書)

平成21年7月1日

内閣官房長官・拉致問題担当大臣

河村建夫 殿

特定失踪者問題調査会  
山本美保さんの家族を支援する会  
山本美保の家族

山本美保さんに関わる「DNAデータ偽造疑惑事件」の調査に関するお願い

平素は拉致問題の解決のためにご尽力下さり誠にありがとうございます。

さて、標記の件、「失踪17日後に山形県遊佐町の海岸に漂着した身元不明遺体の骨髄と双子の妹森本美砂の血液のDNA鑑定の結果が一致した。従って当該の身元不明遺体は山本美保である」という平成16年3月5日の山梨県警発表以来、私たちはこの事実確認のため奔走し、県警にも再三の質問を行いました。様々な可能性も検討したものの、合理的に考えて当該遺体と山本美保が別人であることは明らかであり、したがって一致するとされたDNAデータはどこかの過程において偽造されたものと思わざるを得ません。

この問題については山梨県警からの回答は全く疑問を解消できるものではなく、これ以上県警への問い合わせをしても矛盾点を解消することは不可能であると思います。また本件はその前後関係などから言って政府中枢が関与した事件である可能性が少なくありません。つきましては下記の2点について要請する次第です。

記

1、現在の県警担当者は平成16年3月5日当時本件と全く関係のない立場にお

り、当時の状況については当時の担当者の作成した文書を元に語ることはできません。県警発表を行った警備1課長（当時）、丸山潤氏から家族及び関係者に直接の説明をしていただくようご配慮をお願いします。

2、本件は小泉政権当時の官邸中枢の指示によって行われた可能性が少なからず存在しています。事実であれば政府に対する国民の信頼を大きく毀損するものであり、看過することはできません。当時の状況について調査をしていただきたくお願いします。

以上（妹の森本美砂さんからの手紙）

内閣官房長官 河村建夫様

官房長官におかれましては、日頃より拉致問題の解決のためご尽力いただきまして、ありがとうございます。

この度、私の双子の姉山本美保の置かれました状況につきまして、要請をさせていただきます。

姉を捜し続けて25年が過ぎました。拉致かもしれないという支援の方々のご指摘に、何の連絡もなく失踪した姉の状況が納得できました。17歳の秋に事故で兄を亡くした私達は、両親の苦しみを何よりも知っています。その姉がさらに親を苦しめることを自らする訳がなく、連絡がないのは、連絡ができない状況に置かれていると思わざるを得ません。

私達家族は、何が何でも姉が拉致被害者であると言い張っているのではありません。これだけ国内で騒がれているのです。国内にいれば、何か一つでも手掛りがあるのではないかと思います、この25年間探し続けてきました。姉につながる真実が示されたのなら、どんな状況でも受け入れる覚悟はできているのです。しかし、国内からは何一つ見つからない。

今回の山形のご遺体のことも、一度はそれが真実なのだと思います。真実ならば父と兄の眠るお墓に入れてあげなければと思います。しかし、次第に明らかにされる事実には愕然としました。山形のご遺体は、何一つ姉を語っていなかったからです。

詳しくは過去にずっと述べてきました。どう考えても姉とは思えないご遺体を家に連れ帰ることはできませんでした。騒がせてしまったその遺体のご本人に対しても、大変申し訳なく思っています。

山梨県警で40年に渡り、治安を守ってきた父が生きていれば、こんなことにはならないと思います。あまりに理不尽なことを受け入れる訳にはいきません。

姉は生きています。生きて救いを待っています。その姉を母に会わせてあげてください。国内で葬り去ろうということだけは、決して決してしないでください。私達家族の気持ちをお汲み取り、真実をお示しくくださいますよう、切に切にお願い申し上げます。

平成21年7月1日  
山本美保の妹 森本美砂

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 802] (21.7.6)

■藤田隆司さんから官房長官への手紙

※ 以下は7月1日に特定失踪者藤田進さん（特定失踪者の中には同姓同名の方がもう一人おられますが、埼玉県川口市で失踪した藤田進さん）の弟さんである藤田隆司さんから河村官房長官に手渡された手紙です。

拝啓 内閣官房長官殿

はじめまして。わたしは埼玉県川口市に生まれ育ち今も住んでいる 藤田隆司（51）と申します。今から約33年前の、昭和51年2月7日に、私の兄（藤田進・当時19・大学1年）は、川口の自宅を出たまま失踪し行方不明の状態が今も続いています。

兄 藤田進は昭和31年生まれで生きていれば、53歳です。川口の自宅



で生まれ失踪する19歳までずっと川口に住んで、将来の夢（体育教師）を追い求めていた、生き生きした青年でした。

今から5年前に1枚の写真が日本に届きました。その写真の人物が兄 藤田進であることが橋本正次先生の鑑定によって、本人であることが判明しています。平成16年8月1日にTBSの報道特集で報道され、それ以来多くのマスコミにも私は出演し講演もしてきました。しかし、体調を崩し、約5年間何もできない状態が続き皆様にご迷惑やあらぬ噂まで飛び交うことになってしまいました。体調も回復し兄の件で何とか真相の究明や救出に向けて何でもやっ払いこうと改めて決意しました。

私の兄は北朝鮮に拉致されたことの裏づけとなる証言や蓋然性は、この写真以外にも数多くあります。なのに、未だに認定すら受けていません。私が知る限りの情報はすでに川口警察、外務省、公安、等関係するであろう省庁にはすべてお伝えしています。

次の質問にぜひお答え願います。

- 1、 なぜ、5年たっても認定に至らないのか？
- 2、 そもそも、どんな条件がそろえば認定するのか？
- 3、 知りえた情報を誰が管理し、誰が分析しどう利用されているのか？
- 4、 兄の件について、何をどこまで調べ、あと何が明確になれば認定されるのか？
- 5、 内閣管内に拉致関連情報を専門に調査分析する専門官や組織があるのか？
- 6、 被害者救出のための、具体的な救出計画や戦略は持っているのか？
- 7、 そして、日本国内の拉致に加担し協力した人物をなぜ一人も逮捕すらできないのか？
- 8、 すべての拉致被害者とは認定された被害者だけなのか？
- 9、 調査会では約500人、警察は1000人を超える未解決失踪者を把握しています。このかたがたの多くは北による拉致の可能性が非常に高いと思われます。もし拉致だとすれば、日本の歴史史上、最大で最悪の人権侵害が現在も続いていることとなります。世界史上でも最大級の事件であり、あってはならないことです。

一刻も早く、あらゆる方策を実行し全面解決解明に向けて、日本のすべてを総動員して政府が主体的に行動を起こしていくことを切に切におねがいます。

日本のすべての意志であり、すべての拉致被害者を返す以外に、北朝鮮の生き残る道はないことを全世界に宣言して頂きたいと思います。日本のほんとの怖さ　すごさを北の將軍様一族に明確に伝えて下さい。金正日はいずれ亡くなります。その時が絶好の機会です。この好機を絶対に無駄にしないで頂きたいし、日本がどんな政権になろうとも、拉致に関しては一致協力して動いてほしいと思います。

藤田隆司 平成21年7月1日

敬具

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 801] (21.7.5)

※先ほど送った801号の件名が800号のままになっていました。誠に恐縮ですが再送しますので前のものを削除下さい（号数が801号、生島さんの文書になっており、中身が下と同じ竹下さんのものです）。

■竹下珠路さんから官房長官への請願書

以下は7月1日に河村官房長官に提出された特定失踪者古川了子さんに関する請願書です。お姉さんの竹下珠路さんから手渡されました。

内閣官房長官 河村 建夫 様

請 願 書

昨今の北朝鮮の目に余る暴挙は、拉致被害者家族はもとより全世界が大変憂慮しており、日本政府が率先して独自の措置を決定し実施の手続きを進めたことに関し、深く感謝申し上げます。

このたび河村官房長官に貴重なお時間を頂戴しましたので、北朝鮮に拉致の疑いが濃厚でありながら、日本国による拉致被害者認定に至っていない特定失踪者の家族として一言お願いを申し上げます。

1. 日本政府として独自に「拉致の可能性のある人々」の総合的かつ個別の調査をする機関を早急に作ってください。もしも「北朝鮮こそがすべての拉致被害者を知っている（はず）」とのお考えであれば、正確さに欠けることであり、自国民に対して不誠実であると考えます。日本政府がすべての「拉致の可能性のある人々」を認識していなければ、そのすべてを救出することは不可能です。

2. 日本国内の証拠調査にとどまらず、北朝鮮からの脱北者やその関係者などから直接情報を収集することも含め、あらゆる角度から真相究明を急いでください。そのために、韓国や中国への協力依頼も積極的に推進して下さい。

3. 「疑わしきは認定する」との意思を持って拉致被害認定者を増やし、拉致問題解決への前進を図って下さい。内閣府からは、ようやく今春より認定被害者と同じ情報の送付をしていただけるようになりましたが、認定被害者と未認定者とは、一般社会における注目度が全く異なります。国内における注目度の高まりは、すなわち間接的に北朝鮮に対する無言の圧力にもなります。特に、地方行政機関においても特定失踪者に対する認識を深めていただけるよう、「疑わしきは認定する」ことを地方行政に表明し、全国民が自分たちの問題として理解できるよう啓発して下さい。

4. 内閣府や外務省等、省庁の内外を問わず、拉致問題解決のための専門家を集めた専門家委員会（このような名称があるかどうか分かりませんが）を設置し、積極的に行動できる機関としての組織を作ってください。そして、北朝鮮国内に異変が起きた場合への対応も含めて、一日も早い全員救出の具体的な態勢を整えてください。

古川了子は18歳で拉致をされてから、この7月7日でちょうど36年が経過します。

帰りを待ちわびる母朗子も93歳になりました。人の命は限りがあります。どうぞ命のあるうちに親子が再会できるよう、あらゆる方策を駆使し、国の威信をかけて、すべての拉致被害者を一日も早く取り返して下さい。

平成21年7月1日

特定失踪者 古川了子の姉 竹下 珠路

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベ

ントのみ)

★7月11日(土) 14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」  
(拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催)

●藤沢産業センター (JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●理事三宅が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日(土) 14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」(拉致問題を考える川口の会主催)

●フレンディア(京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F)

●代表荒木が参加

★9月26日(土) 13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」(東アジアネットワーク主催)

●大和会館(米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 長崎さん(090-7376-7803)

★10月12日(月) 13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 800] (21.7.4)

■生島馨子さん・支援組織・調査会から官房長官への要望書・資料

以下、7月1日に河村官房長官宛の特定失踪者生島孝子さんに関する要望書です。お姉さんの生島馨子さんから手渡されました。

平成21年7月1日

内閣総理大臣 麻生 太郎殿  
外務大臣 中曽根弘文殿  
内閣官房長官 河村 建夫殿

特定失踪者問題調査会  
特定失踪者生島孝子を救う会  
生島孝子姉生島馨子

生島孝子の目撃証言者呉吉男氏への聞き取り調査に関する要望書

特定失踪者生島孝子の告発は平成16年11月10日に受理されましたが、4年半過ぎた現在に至ってもその後の経過が家族には伝えられていません。政府におかれましては目撃証言者に対する聞き取り、事情聴取等を早急に行いそ

の結果をお知らせいただきたく要望する次第です。

## 概要

昭和47年11月1日渋谷区笹塚にて突然失踪した生島孝子は、32年経過した平成16年、韓国人経済学者で一時期北朝鮮に在留し、後に脱出した経験のある呉吉男（オ・ギルナム）氏により、18年前言葉を交わした女性に似ているとの証言があった。呉氏は目撃当時平壤駅と高麗ホテルの間にあるアパートに居住しており、女性も同じアパートに暮らし日本語を教えていると語ったという。この女性について特定失踪者問題調査会が報道関係者の協力も得て多くの失踪者の中から生島孝子ではないかと推測し、代表荒木が同年1月ソウルを訪れ呉氏と会い、後に姉馨子も直接面会し良く似ているとの証言を得る。

その後呉氏が来日した際、当時存命であった孝子の母うらと面会したが「（うらとその女性は）そっくりである、間違いないだろう」と語っていた。しかし、孝子との再会を目標に33年生き伸びた母は力尽き、国の対応を強く望みながら面会から5か月後、満100歳を目前にして息を引き取った。

## 要望事項

### 1、目撃者呉吉男氏からの聞き取り

「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」第2条2項には「自ら徹底した調査を行い」とうたっている。生島孝子の場合目撃証言者の氏名が明らかなのであるからぜひ聞き取り調査あるいは事情聴取を行っていただきたい。とりわけ目撃者呉吉男氏は最近非常に体調が悪化していると言われる。生島孝子も行方不明になって37年過ぎ、本年は68歳になり、残りの人生はわずかである。早急な対応を望みたい。

### 2、政府認定要件の再検討

所謂、拉致認定の要件と言われている3項目、すなわち?北朝鮮の国家的意思が推認される、?本人の意思に反する?北朝鮮に連れて行かれた、をすべて証明することは、生島孝子を含め多くの特定失踪者については現在の法律を前提にする限り不可能に近い。法改正も含め認定基準自体の再検討をお願いしたい。その上で拉致の可能性の高いと認識される失踪者については迅速に拉致認定を行って頂きたい。生島孝子の場合も政府認定のない現在、北朝鮮で命尽きても「ただ無念の死となり」拉致の事実は永久に不明となってしまう。このような事のないことを求めたい。

### 3、救出の対象を政府認定者に留めないことを求める

現在、政府の特定失踪者に対する取り組み方は、非常に消極的である。被害者を取り返すための各施策を、特定失踪者にまで拡大し強力に取り組むことを求める。

以上

## 参考資料

呉吉男氏宅（ソウル市内）を調査会代表荒木が訪問した際のインタビューの

## 内容 (H16.1.21)

その女性に会ったのは1986（昭和61）年。当時自分は44歳で、住んでいた場所は平壤市中区城東興洞、蒼光通りに面した平壤駅前デパート横の20階建てアパートだった。自分はその12階に住んでおり、その女性もそこに住んでいたが建物の中で顔を会わせることはなかった。1つの階に6～7世帯が入っており、スタッフが住んでいた。当時この女性のご主人が外国に出ていたようだ。自分と同じくらいの年齢好に見えた。子供がいたかどうかは不明。

その女性はトロリーバスに乗ってきた。中庭で会い、北朝鮮人と異なった印象を受けた。憂愁を帯びたような感じ、清潔な印象。丸顔で印象は生島孝子と姉馨子の写真と似ている。身長は155センチ程度ではないか。知的で少なくとも高校位は出ていた感じ。大人しい、静かな感じの人。ツーピースの服を着ていた。

その女性の方から「ヨーロッパから来られたのしょう」と声をかけてきた。「（自分は）日本語を教えています」とも言った。

その後もう一度見かけた。人からその女性が日本語を教えていると聞いた。

蒼光通りには食堂が多い。半分外貨、半分北朝鮮ウォンでやる食堂で朝鮮総連関係者が多かった。こういうところに入出入りする人間はこの女性を見た可能性がある。

（平成16年10月3日・TBS）

ナレーション（以下「N」） 2003年9月韓国ソウルで、北朝鮮を脱出したある人物のインタビューで、注目すべき発言がありました。

呉吉男氏（以下「呉」） 日本人の女性を見たことがあります。

N こう証言するのは韓国人経済学者、呉吉男博士、1985年西ドイツで大使館関係者に誘われ、北朝鮮に渡ったが1年後家族を残し脱出した人物です。

呉 その人はピョンヤンの人とは印象が違っていました。顔の様子、頬骨辺りは特に違っていました。私がこうやって挨拶すると（頭を下げ仕草を示す）その人も同じようにこうした。

N 呉博士は北朝鮮で最高の待遇を受けていたが、その女性も同じ高級アパートで生活していたと言います。

呉 その人は日本人妻ではなく、日本から拉致されたのではないかと思われまます。私の住んでいた高い所には、スタッフの家族が住んでいました。その女性もそこに住んでいましたから、夫はスタッフではないかと思えます。ほかの人を通じて聞いてみたが「その通りだ」ということでした。

N この段階では（03年9月）（特定失踪者問題調査会で作成した写真を見てもらったが、誰であるかの特定は出来なかった。（中略）衛星写真をもとに作ったコンピューターグラフィックを指し、日本人女性目撃地点を示

す。アパートはピョンヤン駅のすぐ近く、高麗ホテルの隣で20階に日本人女性は暮らしていたと言います。

（ソウルを訪れた荒木代表と呉氏が会い、失踪年代、年齢等から生島孝子が浮かび上がり、写真より家族が面会して確認してみてもということになったが、母は入院中で姉がソウルを訪れた）

呉 似ています。その人の方が（呉氏と姉が並んで立ち）少し高かったと思います。こうして（多くの写真を並べそのうち数枚を取り出し）並べてみるとこういう姿に人を見たことがあります。繋がります。

（中略）

ほぼ80%から90%間違いないです。背も容姿も北朝鮮にいる日本の女性、蒼光通りに居る女性が、映像として浮かびます。生きているなら、今もそのアパートに住んでいると思います。

N 母うらさんは報告を聞き、

うら 最初は夢中になって捜したんですよ。心配して捜したんですけど、日が経つにつれてあの子は心の優しい子だったけど、反面ものすごくしっかりした自立心の強い子だったもんですから、今もわかんないのは何処かで自立して生きているんじゃないかって、信じるようになって…来年は満100歳になるけど、どうしてこんなに生きちゃったかと思うんですけど、どこかで生きていてくれればと、それがただ一つの頼りです。よろしく願います。

（平成16年12月18日 フジテレビ）

N 進まぬ拉致問題の解決を促すべく、韓国から一人の人物が来日した。

呉 拉致された日本人について、人道的な立場から申し上げたい。証言できることがあれば証言したいと思います。

N 韓国出身の経済学者呉吉男氏で、ドイツ留学中の1985年、仕事があるからと北朝鮮に入ったが、1年後妻子を残し脱北した。その1年間に、石岡亨さんや生島孝子さんを目撃したという。今回2人の家族に会い知っていることを話したいという。

（生島孝子母うらと面会する）

呉 生島さんと簡単な会話を交わしたのは、18年前の1986年6月～8月、2回会いました。（中略）

初めて会ったのは「蒼光通りにあるトンフン洞アパート」前で、娘2人（呉氏の）と帰る途中でした。

N その場所を確かめるため92年に撮影されたピョンヤン市内の映像を見もらった。（市内の映像を見ながら）ここが蒼光通りで平壤駅とここが高麗ホテル隣にある、僕たちが住んでいたトンフン洞アパートがここです。間違いなくこれです。

呉 必ずもっと長生きして、北朝鮮に居る娘さんと1日も早く抱き合って喜びの涙を流すよう祈っています。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月5日（日）13：00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）  
●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）  
●代表荒木が参加  
●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）  
●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）  
●理事三宅が参加  
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）  
●フレンジア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）  
●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）  
●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）  
●代表荒木が参加  
●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）  
●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）  
●副代表真鍋が参加  
●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は

[調査会NEWS 799] (21.7.3)

■小林七郎さんから官房長官への手紙

※これから順次官房長官との面会の際手渡された手紙・要請文書の内容をお知らせします。最初は昭和41年東京で失踪された小林榮さんの弟さんである小林七郎さんからのお手紙です。

内閣官房長官 殿

繁忙の折、貴重な時間を割いての対応真に有難うございます。

北朝鮮による拉致の疑いが排除出来ない者の私の兄 小林榮の失踪状況調査のお願いです。

兄の失踪を家族が知ったのは、失踪後1週間ほどして会社の社長から父親



宛てに来た一通の手紙でした。今から43年も前のことでもあります。

「8月21日(日)の朝、社長が社内で見たりきりなので田舎に帰っていませんか」という内容でした。兄は、学校を卒業するとすぐその会社に住み込みで就職し年に1～2回実家に帰る生活で昭和30年代当時の集団就職者一般の生活でありました。

当時父がいましたが、失踪から少し時間を置いて父が警察へ行方不明の届出などをしたと記憶しております。兄の失踪について初動時の捜査、調査はされておりませんし、今だに公的機関による捜査、調査はされておりません。

古い話になり、忘れたこともあります。家族は兄の消息を求め勤め先を尋ねたり、兄が頻繁に出入りしたという「蕎麦屋」さんに行ったり、大塚の監察医務院で見るに耐えない「写真」を見たり、年に1度浅草寺でおこなわれている「家出人相談」に相談したりしました。兄の失踪が家族に与えた影響はいろいろありました。とりわけ人生の節目である就職や結婚の時は兄「栄」に係わることがないよう微妙な気遣いに腐心しました。

兎に角、長い年月でありいろいろな事件、大きな事故もがありましたのでその都度、「もしや、兄」がとの思いで事件、事故を注視しておりました。家族は何かにつけて失踪の真相を知ろうとあらゆるメディアに耳を欝てておりました。

北朝鮮による拉致が全国的な問題との疑いが出てきた平成15年はじめ北朝鮮による拉致の疑いがある者を調査する民間団体、特定失踪者問題調査会が出来て兄のことを届け出ました。と共に調査会の意向もあり地元警察に再度「行方不明者の届け」をしました。

また、兄が働いていた会社の社長や何人かの同僚の所在も知れたことから、私が直接電話して当時の兄の状況を聞こうとしましたが社長を除き、なぜか当時のことを話してくれませんでした。私は社長に面会し兄の失踪時のことを確認しようとしたのですが、現在配偶者が病院に入院しており看護のためなどで面会はいまのところ出来ておりません。

地元警察に調査をお願いしたところ、個人のプライバシーもあるので警察としても調査は出来ませんとのこと。兄のことが事件や事故に関するものであれば何とか調査は出来るのだがとの答えです。

人が一人居なくなっているのは事件でないのでしょうか、43年も経っておりますが関係する方がおります。一人一人の命が掛かっている大きな問題です。

兄本人も関係する方も同じく高齢になっております、残された時間はそんなに長くはありません。いま、調査しなければ家族の真実を求める思いは断念されることとなります。とても納得できるものではありません。

家族が、出来ることはしました。これ以上は権限のある公的機関にお願いするしかありません。家族は真実が知りたいのです！

このような思いを持った家族が何百人の否、一説によると1000人は下らないとの情報もあります。

今まさに北朝鮮は国際社会の大きな懸念である「大量破壊兵器」の開発に全国力を注いでいるような報道であります。北朝鮮を巡る関係各国により核、ミサイルが大きくとりあげられ「拉致」は片隅に置かれるような気がしてなりません。

そして私達拉致の疑いがある者の家族が今一番心配していることは政府認定の拉致被害者17名の解決で全て終了「拉致の疑いがある者」は切り捨てられるのではないかということです。

国の基本的問題である北朝鮮による拉致問題の解決のために万難を排しご尽力賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月1日

茨城県龍ヶ崎市 小林七郎

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンジア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187又は

[調査会NEWS 798] (21. 7. 2)

## ■昨日の官房長官面会、調査会要請文書

すでに報道もされていますが、昨日特定失踪者のご家族（12家族15名）が河村官房長官と面会、要請文書と11万1471人分の署名を提出しました。

面会の場には調査会の役員等も同席、冒頭代表して荒木より挨拶。情報収集にさらに力を入れて欲しい（下記調査会要請文書第2項）こと、ご家族のみならず拉致被害者も高齢化しており、時間が限られていること、今回の調査会及びご家族からの要請文書については対策本部からの回答をいただきたいこと（調査会要請文書第3項）を申し上げました。

続いて要請文書及び署名をそれぞれのご家族から提出し、官房長官の挨拶（下記1）がなされ、さらにご家族からの要望がそれぞれ伝えられた後、官房長官から再度の発言（下記2）、同席した古屋圭司拉致議連事務局長（自民党拉致問題特命委員長）からも官房長官への要請及び報告が行われました。

官房長官の発言は以下の通りです。

### （1）冒頭の発言

今日まで面会が延びたことを申し訳なく思う。ご家族の希望をしっかりと受け止めたい。拉致問題は国家主権の侵害と日本国民の生命と安全に関わる重大な問題である。官房長官に就任してから、早く早くと思ってきたが十分でなかったことを恥ずかしく思う。この問題解決のために全力を尽くしたい。麻生政権の方針として、情報の収集と分析に力を入れていくことを決定している。特定失踪者の問題も、拉致対策本部で方針を決定している。特定失踪者の問題をきちんと認識して、調査や情報収集をしていきたい。北朝鮮に対しては、全ての拉致被害者を帰国させるように求めてきたとともに、こちらから拉致の疑いが否定できない方々の名簿を提出している。これからも、最大限の努力をしていきたい。

### （2）最後の発言

ご家族から切実なお話を伺った。担当大臣としての責任の重さと、ご家族の心労を痛感している。拉致の可能性が高いケースについては、政府認定を含めて、全力を尽くしたい。拉致対策本部でもっときめ細かな対応をしていきたい。改めて、政府内で対応をきちんとさせていきたい。全力を尽くすことをお約束する。

<調査会からの要請文書>

平成21年7月1日

内閣官房長官・拉致問題担当大臣 河村建夫様

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

未認定の拉致被害者救出に関するお願い

平素官房長官として、そして担当相として拉致問題解決のためにご尽力いただいていることに心より敬意を表します。また、ご多忙な中本日特定失踪者家族と面会のお時間を作っていただいたことに御礼申し上げます。

認定未認定に関わらず、すでにご家族は高齢化し、先週には福井県小浜市で失踪した山下春夫さんのお兄さんである山下孝治さん（群馬県在住）が亡くなりました。小浜で救出のために活動してきた長兄山下寛久さんも最近体調を崩し小浜を離れざるをえなくなっています。特定失踪者の御家族の多くは時間が切迫していることを痛感しています。

官房長官におかれましてはこの現実をご理解賜り、下記の諸点について早急な対応をしていただきたく、お願いする次第です。

## 記

1、現在の警察を中心とした捜査→拉致認定→外交交渉での帰国というやり方では大部分の未認定拉致被害者は北朝鮮でその生を終えることとなります。認定被害者も大半は同様でしょう。担当大臣として、政府の責務が「救出」にあるということを経済の前に明らかにしていただくようお願い致します。

2、上記の前提において、脱北者、脱北帰国者からの聞き取り等を積極的に行い、北朝鮮からの情報収集をしていただきますようお願い致します。また、これらの活動をするためには捜査情報の秘匿が原則である警察を中心として拉致問題に対応するのは無理があり、官房長官のリーダーシップのもと、様々な機関を活用して情報収集を進めていただくようお願いする次第です。

3、本要請書及び個々の案件に関する要請書に関しては、お手数とは存じますが対策本部からの文書をもってご回答賜りたくお願いする次第です。

## 以上

なお、今回参加されたご家族は以下の通りです。（失踪者氏名・失踪時期・現年齢・参加家族氏名・本人との続柄の順に記載）

小林栄（昭和41年失踪 現在66歳）	小林七郎（弟）
鈴木賢（昭和47年失踪 現在60歳）	鈴木智（兄）
生島孝子（昭和47年失踪 現在68歳）	生島馨子（姉）
古川了子（昭和48年失踪 現在54歳）	竹下珠路（姉）
大澤孝司（昭和49年失踪 現在63歳）	大澤昭一（兄）
藤田進（昭和51年失踪 現在53歳）	藤田隆司（弟）
河嶋功一（昭和57年失踪 現在51歳）	河嶋愛子（母）
山下貢（平成元年失踪 現在58歳）	山下きよ子（母）
安西正博（平成8年失踪 現在40歳）	安西茂雄（父）
宮内和也（平成9年失踪 現在44歳）	宮内和見・澤香苗（父・義兄）
後藤美香（平成13年失踪 現在37歳）	後藤日出男（父）
宮本直樹（平成14年失踪 現在31歳）	宮本正栄・はるみ・剛志（父・母・兄）

※個別のご家族からの要請文書は順次お知らせします。また、対策本部からの回答についても回答があり次第お知らせします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月5日（日） 13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187又は